



第 10 回神戸マラソン
ライセンス使用プロパティマニュアル

P.01	-----	表紙
P.02	-----	目次
P.03	-----	はじめに
P.04	-----	大会名表記、呼称について
P.05	-----	プロパティエレメント
P.06	-----	ライセンス使用にあたっての無償・有償の区分
P.07	-----	ロゴタイプと略称ロゴタイプ - 1
P.08	-----	ロゴタイプと略称ロゴタイプ - 2
P.09	-----	テーマ
P.10	-----	シンボルマーク
P.11	-----	公式セットマーク 1
P.12	-----	公式セットマーク 2
P.13	-----	ロゴタイプ・略称ロゴタイプ・公式セットマークの背景との関係
P.14	-----	第 10 回大会記念ロゴ 1 タイプ A
P.15	-----	第 10 回大会記念ロゴ 2 タイプ B
P.16	-----	第 10 回大会記念ロゴ 3 タイプ C
P.17	-----	第 10 回大会記念ロゴ 4 背景との関係
P.18	-----	プロパティエレメントの使用禁止例
P.19	-----	ライセンス表示
P.20	-----	ロゴタイプとシンボルマークの組み合わせ
P.21	-----	ロゴタイプ、シンボルマークとテーマロゴの組み合わせ
P.22	-----	キャッチフレーズの設定とロゴタイプ、シンボルマークとの組み合わせ
P.23	-----	プロパティ使用承認申請の手順 / 【無償】
P.24	-----	プロパティ使用承認申請の手順 / 【有償】

兵庫県・神戸市・兵庫県教育委員会・神戸市教育委員会・(一財)兵庫陸上競技協会の主催により、第10回神戸マラソン(英文名: KOBE MARATHON 2022)を、2022年11月20日(日)に開催します。

このライセンス使用プロパティマニュアル(以下、「本マニュアル」と表記)では、「第10回神戸マラソン」の表象として使用される「公式セットマーク」、「ロゴタイプ」など(以下、「プロパティ」と表記)の使用方法についての規定をご案内します。ぜひ皆様におかれましては、この表現コンセプトをご理解の上、ご使用に際しては必ず本マニュアルの規定に準拠していただきますようお願い申し上げます。プロパティには知的財産権が主催者に保有されており、厳重に保護されています。万一、プロパティを不正にご使用になった場合には損害賠償請求等の法的措置がとられる場合がありますので、十分にご注意ください。

なお、プロパティに係わる知的財産権は、神戸マラソンライセンス事務局が管理しております。使用承認申請の手続きについて 無償申請、有償申請共に、プロパティをご使用いただく際は、本マニュアルの規定に従い、他に規定されない限り、以下記述の神戸マラソンライセンス事務局に必ず事前に使用承認の申請をする必要があります。

プロパティを含む使用案、デザイン案等を制作物使用の事前に提出してください。使用承認申請の受理後、承認、不承認についての連絡は神戸マラソン実行委員会事務局又は神戸マラソンライセンス事務局から行います。

また、第10回大会記念ロゴの使用に関しては、タイプA～C以外での使用は、神戸マラソンライセンス事務局への事前申請による使用申請、承認取得の手続きが必要となります。

お問い合わせ

●神戸マラソンライセンス事務局

〒650-8580
兵庫県神戸市中央区東川崎町 1-5-7
株式会社ラジオ関西 内

お問い合わせフォームまたはメールでお問合せください。

e-mail : license@kobe-marathon.net
form : <https://kobe-marathon.net/2022/business/licenseform.html>

お問い合わせフォーム




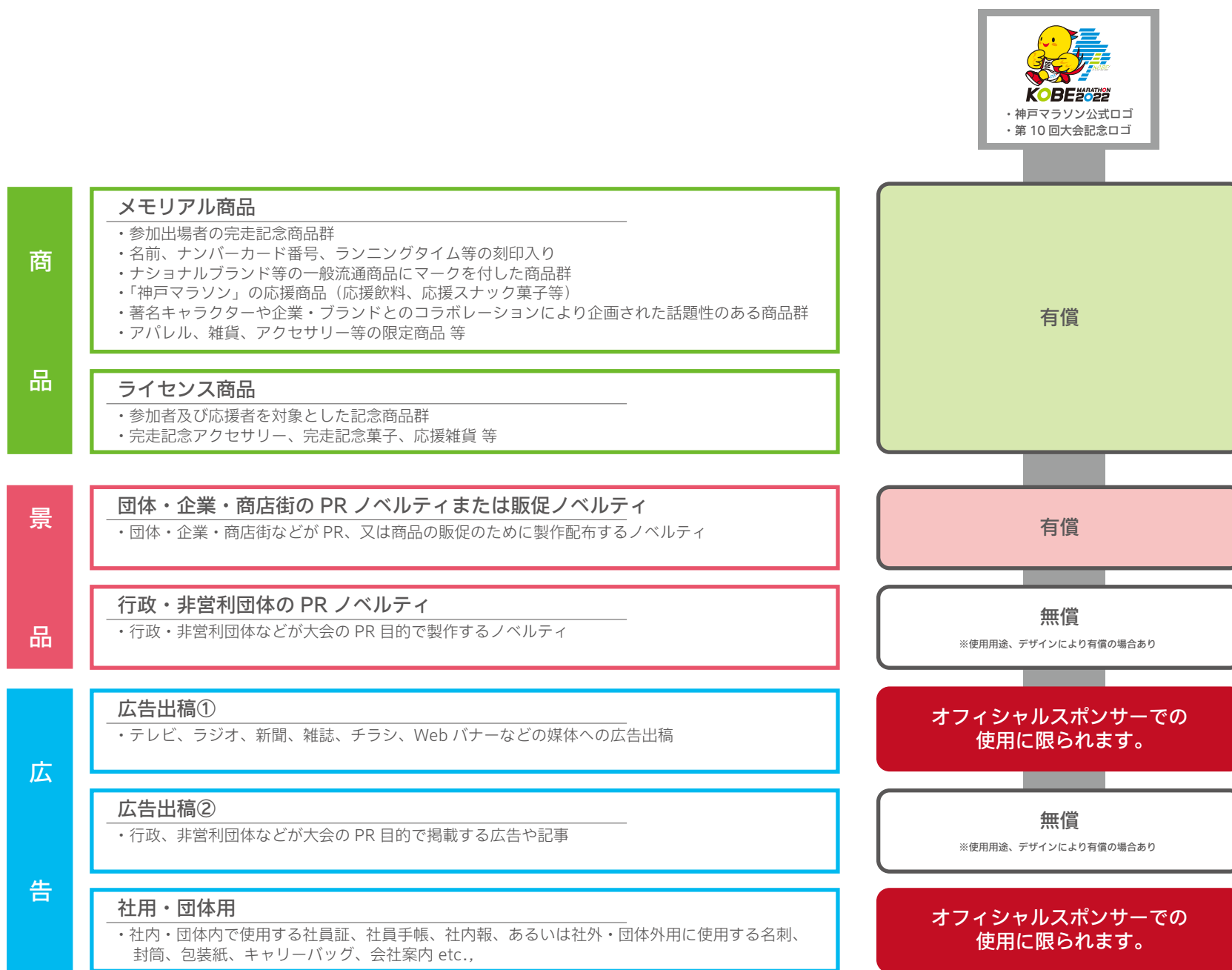
神戸マラソンの正式大会呼称、表記については下記をご使用ください。

	和 文	英 文
大会略称	第10回神戸マラソン	KOBE MARATHON 2022
大会正式名称	神戸マラソン	KOBE MARATHON
大会呼称	こうべまらそん	こうべまらそんにーぜろにーにー

英数字はすべて半角表記となります。

使用することができるプロパティ（ロゴタイプ及びシンボルマークなど）は以下のとおりです。

<p>ロゴタイプ 年号 20xx は毎年更新</p>	<p>英文 ①  英文 ③ </p> <p>英文 ② </p>
<p>略称ロゴタイプ</p>	<p>英文 ①  英文 ② </p>
<p>テーマロゴ</p>	<p>テーマロゴ ①  テーマロゴ ② </p>
<p>シンボルマーク</p>	<p></p>
<p>公式セットマーク</p>	<p>タイプ A  タイプ B  タイプ C  タイプ D </p>
<p>第 10 回大会記念ロゴ</p>	<p>タイプ A  タイプ B  タイプ C </p> <p>※第 10 回大会記念ロゴのタイプA～C以外での使用は、神戸マラソンライセンス事務局への事前申請による使用申請、承認取得の手続きが必要となります。</p>



※上記表中、「有償」とされていても、オフィシャルスポンサーの協賛カテゴリーについては「無償」となります。

カラー表現方法と最小使用限度を示します。

ロゴタイプ

英文①



英文②



英文③



ロゴタイプ単色ベタ

英文①、英文②、英文③共通です。



ロゴタイプ最小使用限度

白フチでくるる、又は、白フチでほかす場合は、P.13 をご確認ください。ロゴタイプ単色ベタに関しても同様です。



略称ロゴタイプ

英文①、英文②、英文③共通です。

英文①



英文②



略称ロゴタイプ最小使用限度

白フチでくるる、又は、白フチでほかす場合は、P.13 をご確認ください。



カラーネガロゴタイプ

カラーネガロゴタイプは背景が黒色又はそれに近い色で、ロゴタイプの視認性が損なわれる場合にのみ、使用することができます。



モノクロ表現方法と最小使用限度を示します。略称ロゴタイプについても同様です。

グレイトーン表現

英文①

KOBE MARATHON
2022

英文②

KOBE MARATHON 2022

英文③

KOBE
MARATHON
2022



K100%



K65%



K50%



K35%

スミベタ表現

英文①、英文②、英文③共通です。

英文①

KOBE MARATHON
2022

英文②

KOBE MARATHON 2022

白ベタ表現



「感謝と友情」が大会のテーマです。このロゴタイプを「テーマロゴ」とします。用途に合わせて単体で使用可能です。その態様について神戸マラソンライセンス事務局に事前の使用承認申請を提出し、承認を得ることが必要となります。

テーマロゴ

和文

感謝と友情

感謝
と
友
情

英文

Thanks & Friendship

和文+英文セット

感謝と友情
Thanks & Friendship

最小使用限度

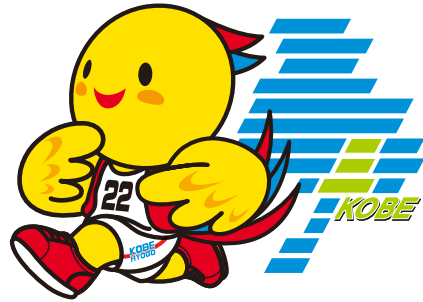
10.5mm
感謝と友情

21mm
Thanks & Friendship

感謝
と
友
情
10mm

21mm
感謝と友情
Thanks & Friendship

カラー表現



■ M10%+Y100%
PANTONE 109
DIC 166

■ M40%+Y100%
PANTONE 137
DIC 163

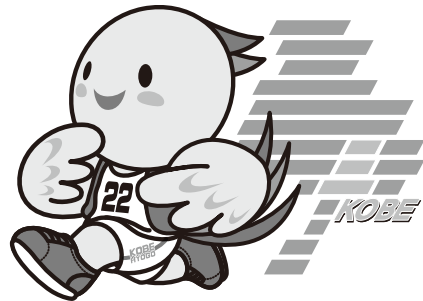
■ M100%+Y90%
PANTONE 1797
DIC 157

■ C90%+M20%
PANTONE 2925
DIC 181

■ C40%+Y100%
PANTONE 375
DIC 211

■ K100%
PANTONE Black
DIC 582

グレイトーン表現



■ K 13%

■ K 35%

■ K 50%

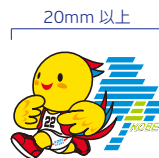
■ K 65%

■ K 100%

最小使用限度 / ミニマムバージョン

通常左右 20mm 以上で使用します。白フチでくる、又は、白フチでほかす場合は P.13 をご確認ください。左右 20mm 未満で使用するときには複雑な線を省略したミニマムバージョンを使用します。

通常最小使用



ミニマムバージョン



公式セットマークには以下の4種類があります。シンボルマーク、ロゴタイプ、テーマロゴを組み合わせる際には、可能な限りこのセットマークを使用してください。

公式セットマーク



最小使用限度

白フチでくるる、又は、白フチでほかす場合は、P.13をご確認ください。



公式セットマークは他のデザイン要素との間に一定のクリアランスを確保する必要があります。また、ロゴタイプ・公式セットマークを使用する際の視認性を確保するための表現については、P.13の「ロゴタイプ・略称ロゴタイプ・公式セットマークの背景との関係」をご参照ください。

公式セットマークのクリアランス

タイプ A



タイプ B



タイプ C



タイプ D



ロゴタイプ・略称ロゴタイプ・公式セットマークを使用する際に、背景にほかの画像があったり、背景色が黒色又はそれに近い色などで視認性の確保が難しい場合の表現方法を以下に示します。視認性を損なわないようにふさわしい表現を選んでください。P7 単色ベタ、P8 モノクロでの表現に関してもこれに準じます。

白フチまたは白フチぼかしでくる。 略称ロゴタイプに関しても同様です。



白フチまたは白フチぼかしの最小使用限度。



タイプ A の表現方法を示します。

カラー表現

白カラーネガ表現については背景が黒色又はそれに近い色で、ロゴタイプの視認性が損なわれる場合にのみ、使用することができます。



グレイトーン表現 / スミベタ表現 / 白ベタ表現



最小使用限度

白フチでくる、又は、白フチでぼかす場合は、P.17 をご確認ください。



タイプ B の表現方法を示します。

カラー表現

白カラーネガ表現については背景が黒色又はそれに近い色で、ロゴタイプの視認性が損なわれる場合にのみ、使用することができます。



グレイトーン表現 / スミベタ表現 / 白ベタ表現



最小使用限度

白フチでくるる、又は、白フチでぼかす場合は、P.17 をご確認ください。



タイプ C の表現方法を示します。

カラー表現

白カラーネガ表現については背景が黒色又はそれに近い色で、ロゴタイプの視認性が損なわれる場合にのみ、使用することができます。



グレイトーン表現 / スミベタ表現 / 白ベタ表現



最小使用限度

白フチでくる、又は、白フチでぼかす場合は、P.17 をご確認ください。

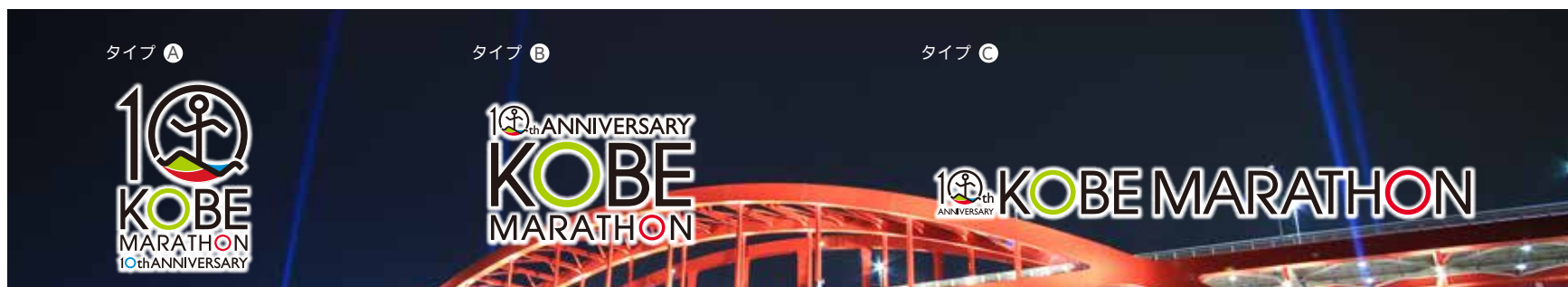


第10回大会記念ロゴを使用する際に、背景にほかの画像があったり、背景色が黒色又はそれに近い色などで視認性の確保が難しい場合の表現方法を以下に示します。視認性を損なわないようにふさわしい表現を選んでください。タイプA・B・Cのスミベタ表現、グレイトーン表現に関してもこれに準じます。

白フチでくる。



白フチぼかしてくる。



最小使用限度



プロパティエレメントの使用禁止例

ロゴタイプ 略称ロゴタイプに関しても同様です。

どの部分も比率を変更することはできません。

指定色を入れ替えることはできません。

書体を変えることはできません。

ロゴタイプのアウトライン表現はできません。



プロパティの表示部分に隣接して吹き出しをつけることはできません。



シンボルマーク

縦横の比率を変えることはできません。

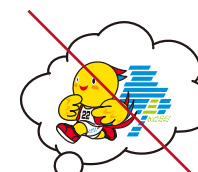
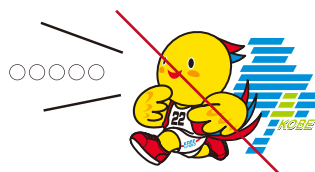
指定色を入れ替えることはできません。

どの部分も省略することはできません。

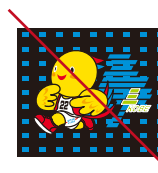
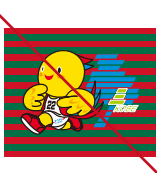
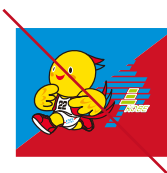
指定色以外の表現はできません。



プロパティの表示部分に隣接して吹き出しをつけることはできません。



視認性が損なわれるような背景での使用は認められません。



商品及び景品には必ずどこか 1 か所にライセンスマークを表示してください。

ライセンスマーク

以下のライセンスマークを、商品あるいは包装、付帯物のどこか 1 か所に必ず表示してください。



スミベタで表現します。

ライセンスマークのミニマムサイズ

ライセンスマークは、天地 9mm 以上の大ききさで表示してください。



ライセンスマークの使用禁止例

ライセンスマークについては、いかなる変更も認められません。

比率を変更することはできません。



色を反転することはできません。



スミベタ以外では表現できません。



公式セットマークとは異なるバランスでロゴタイプとシンボルマークを組み合わせる場合、以下の組み合わせの中から選んで使用してください。





キャッチフレーズの設定とロゴタイプ、シンボルマークとの組み合わせ

神戸マラソンにおいて使用できるキャッチフレーズを設定し、そのロゴタイプを「キャッチフレーズロゴ」とします。ロゴタイプ、シンボルマーク、キャッチフレーズロゴを組み合わせる場合、以下の組み合わせの中から選んで使用してください。

キャッチフレーズ／キャッチフレーズロゴ

キャッチフレーズは改行せず、1行で表現してください。白ベタで表現する場合には、背景に対して視認性を確保してください。最小使用限度は40mmです。

「ありがとう」を、未来へつなごう。

「ありがとう」を、未来へつなごう。

40mm

「ありがとう」を、未来へつなごう。

ロゴタイプ、シンボルマークとキャッチフレーズロゴ



ロゴタイプとキャッチフレーズロゴ



「ありがとう」を、未来へつなごう。KOBEMARATHON 2022

- ① **神戸マラソンライセンス事務局（以下、「ライセンス事務局」）に問い合わせ**
問合せフォームよりご用件、ご相談内容など記載された項目をお送りください。追って担当者よりご連絡します。
- ② **プロパティ使用態様の確認が必要な場合、＜書類＞をライセンス事務局に提出**
＜提出していただく書類＞
●「プロパティ無償使用申請書」 ●「デザインシート」（プロパティの使用形態及び企画内容がわかるもの） ●企業・団体等の概要書
- ③ **＜使用承認審査（【無償】使用）＞**
ライセンス事務局にて受け付けた上記申請書を審査。不承認の場合は、「プロパティ無償使用不承認通知書」を交付。
- ④ **データの支給**
使用承認審査で承認された企業・団体等にはプロパティのデザインデータをライセンス事務局から支給。デザインデータの支給をもって、企画、デザイン案の作成が承認されたこととする。なお、デザイン案の使用承認の確認の連絡をもって最終的な使用承認とする。
- ⑤ **《デザイン案の確認》デザイン案をライセンス事務局に提出**
企画、デザイン案をライセンス事務局に提出。企画、デザイン案が適切であるかどうかの確認。※修正が必要な場合は、修正後のデザイン案を再度提出。
- ⑥ **プロパティの使用承認確認の連絡**
デザイン案の使用進行の可否について、ライセンス事務局からデザイン確認、使用承認回答の連絡。
- ⑦ **完成見本を提出**
プロパティを使用した完成見本をすみやかにライセンス事務局に提出。ただし、完成見本の提出が困難な場合については、ライセンス事務局から事前の承認があった場合に限り、その写真等の提出をもって代えることが可能。
- ⑧ **使用開始**

